

2024年度事業計画書

I 概況

1. 利用者数 120,000人

2023年度は、3月に侍ジャパンのワールド・ベースボール・クラシック(WBC)優勝の熱気が続いたこともあり、野球界はプロ、アマを問わず盛況な1年でした。野球の魅力を改めて認識いたしました。

さて、昨年度の当館の活動ですが、WBC優勝トロフィーを中心にWBC関連の展示を展開、NPBとのコラボレーション企画「野球の学校2023」ではNPB野球規則委員の友寄正人さん、NPB公式記録員の山本勉さんらのトークイベント、小学生向けの「野球で自由研究!」でのイベント各種を開催し、野球の普及・振興に努めました。

また、当館の認知度を高める施策として、前侍ジャパン監督の栗山英樹さんご出演の当館紹介映像を制作し、プロ野球、アマチュア野球の球場で放映していただきました。

WBC優勝により関連展示への注目が爆発的に高まったことに加え、外国人来館者も増えてきており、2023年度の利用者数は2022年度を大きく上回る19万人程度を見込んでおります。

2024年度は、プロ野球創立90年という節目の年でもありますので、それに関する展示や甲子園球場100周年にちなんだ展示などを中心に、野球振興に寄与するような展示、イベントを開催するとともに、夏休みの「野球で自由研究!」を含む「野球の学校2024」をさらに発展させるなどの活動を行い、利用者数は2018年度の111,989人を上回る120,000人を目指します。

2. 野球殿堂

2024年の野球殿堂入りが決定した谷繁元信氏、黒田博樹氏、故 谷村友一氏の表彰式は、7月23日(火)エスコンフィールド北海道で開催されるプロ野球オールスターゲームの試合開始前に行なう予定です。

また恒例の顕彰者ゆかりの品々を展示する「野球殿堂入り特別展」は、表彰式終了後に野球殿堂ホールにて開催する予定です。

3. その他

新年度を迎えるにあたり、2023年度末に老朽化対策として、空冷式チラー1台の入替え、館内照明一部のLED化、入口前の柱巻きリニューアル、物販用自動販売機2台の入替えなどを行っております。

また、当館の認知度を高めるため、3月よりJR水道橋駅にポスター掲出、JR水道橋駅及び東京メトロ後樂園駅の周辺案内図へ広告を出します。加えて、東京ドーム内に看板広告を掲出いたします。

2024年度は、館内でのイベント開催を増やすため、イベントホールにロールカーテンを設置いたします。また、お客様サービスの向上施策として、イベントホールのカーペット張り替え、昨年導入したモニターで放映する映像の更新などを行います。

Ⅱ 館内活動

【図書室】

<ベースボール・インフォメーション・センター化に向けて>

[収集]

野球・スポーツ関連資料の収集を広く行い、コレクションを構築する。下記の資料を重点的に収集する。

- (1) プロや高校、大学、社会人、軟式、女子野球等の資料
- (2) 外国語の資料
- (3) 野球文化に関する資料

[組織化]

各資料の状況を確認しながら以下のことを中心に行う。

- (1) 図書管理システムへの資料登録の継続
- (2) 洋図書の書誌データ入力作業の継続
- (3) 寄贈された資料の整理
- (4) 財産目録上にある資料の処遇について検討

[保存]

資料を長期にわたり活用できる形にする。

- (1) 資料のデジタル化を継続
- (2) 製本を継続

[利用者サービスの向上]

- (1) 館内に資料閲覧スペースを設置
- (2) OPACでの検索可能資料の拡充
- (3) レファレンス対応の強化
- (4) 利用者調査の実施
- (5) 利用者環境の改善
- (6) デジタル化資料の閲覧システムなどの構築
- (7) 閲覧席予約システムの導入の検討
- (8) データベース導入の検討
- (9) 国立国会図書館から図書館送信の検討（デジタル化資料送信サービス）

[調査研究]

- (1) 野球文化に関する資料の調査研究
- (2) 野球殿堂に関わる資料調査及び資料作成
- (3) 明治、大正、昭和期の野球に関する資料の調査研究
- (4) 資料のデジタル化についての先行研究の調査
- (5) オーラルヒストリーの収録、公開
- (6) 博物館史・図書史の調査、公開

[情報発信]

- (1) 図書館総合展への参加
- (2) 日本野球学会への参加
- (3) Web上での所蔵資料紹介
- (4) SNSの活用

<教育普及活動>

- (1) 野球で自由研究！お悩み相談コーナーの設置
- (2) 「第9回 野球で自由研究！コンテスト」の開催
- (3) 「野球で自由研究！」関連資料の販売
- (4) 館内に資料閲覧スペースを設置

<他機関との連携>

- (1) 日本図書館協会や日本体育図書館協議会、専門図書館協議会などの大会や総会、研究会への参加
- (2) 秩父宮記念スポーツ図書館をはじめとするスポーツ系図書館との連携強化

【学芸員室】

<重点目標>

- (1) 企画展や常設展示で、タイムリーで魅力的な資料を展示することで、リピーターを獲得し、継続的な動員につなげる。
- (2) コレクションの整理、収蔵環境の向上の継続的な実施。

< 収集 >

- (1) 資料収集方針に沿って資料を収集し、コレクションの充実を図る。

< 整理・保管・保存 >

- (1) コレクションの登録作業を進める。
- (2) 収蔵庫の分類別収蔵を徹底し、収蔵環境向上に努める。
- (3) 将来的な資料管理システム導入に向け、引き続き収蔵資料の梱卸を実施する。
- (4) 外部収蔵庫、クラウドサービスを活用し、業務環境改善につなげる。

< 展示・イベント >

[企画展・特別展]

- (1) プロ野球 90 年記念展 チームと選手が紡いだ 90 年
2024 年 2 月 27 日～7 月 2 日
- (2) 「野球で自由研究！」7 月～8 月
- (3) 企画展「阪神甲子園球場 100 周年」 9 月～11 月
- (4) 企画展「野球報道写真展 2024」12 月～2025 年 2 月

[常設展・特集展示]

- (1) 全日本大学野球選手権大会 6 月予定 ※アマチュア野球コーナー
- (2) 高校野球特集展示 選抜 3～5 月、選手権 8 月予定 ※アマチュア野球コーナー
- (3) 都市対抗野球 7 月予定 ※アマチュア野球コーナー
- (4) プレミア 12 特集展示 11 月
- (5) 引退選手特集 12 月～2025 年 2 月
- (6) 野球で自由研究！コンテスト作品展 2024 2025 年春予定
※殿堂ホールで開催
- (7) 映像展示「プロ野球のあゆみ」の更新等、映像展示の充実

[「野球の学校」イベント]

- (1) 野球殿堂入りの方々によるトークイベント
- (2) 野球で自由研究！関係イベント
審判員、記録員イベント、バット製作実演、グラブ製作教室等

< 調査・研究 >

- (1) 企画展・特別展開催に際し、それぞれのテーマについて情報を収集する。

(2) 19世紀の日本野球の調査研究を続ける。

<広報活動>

- (1) 企画展やイベント情報を、積極的にテレビ、ラジオ、新聞、情報誌等にリリースし、マスコミへの広報に努める。また、チラシやポスターを作成し、東京ドームシティや野球関連施設、近隣施設等で配布、掲示し、周知に努める。
- (2) ホームページやSNS、P R T I M E Sで企画展やイベント情報を紹介する。
- (3) 当館を紹介する記事、番組の取材や撮影に、積極的に協力してP Rに努める。
- (4) N P B、アマチュア野球関係団体に働き掛け、当館を利用したイベント、記者会見等を積極的に誘致し、館内の有効利用に努める。

<学校教育との連携>

- (1) 学校教育向け体験学習プログラムの対応を行う。2024年度受入れは原則として平日の火、水の13:30~14:30の1日1組とし、①「野球の歴史について」、②「野球殿堂博物館について」、③「野球にまつわる仕事について」の3種のテーマを選択していただき、担当者からプレゼンテーションを行う予定。
- (2) 学芸員課程の履修学生を実習生として受入れる。

【建物設備の維持管理】

- (1) 空調設備の室外機、室内機の保守点検を、年4回専門業者に委託して、維持管理につとめる。
- (2) 映像設備のランプ交換を年1回行う。
- (3) 消防設備の保守点検を年2回専門業者に委託して行う。
- (4) 自動扉の点検を、年3回専門業者に委託して行う。
- (5) エレベーターの保守点検を、年4回専門業者に委託して行う。
- (6) 受付ボスレジシステムの点検を、年2回専門業者に委託して行う。
- (7) 感染症拡大防止のため、日常の清掃、衛生対策を強化する。また、お客様の手に触れやすい箇所に関しては、営業中定期的に消毒し、除菌作業を強化する。

【収益事業】

- (1) 新商品の開発及び商品アイテムの拡充に努める。また、オンラインショップにおいてキャンペーンを実施し、収入増に繋げる。
- (2) 2024年野球殿堂入りの谷繁元信氏、黒田博樹氏のメモラビリアをN P Bオンラインショップで販売する。

Ⅲ 館外活動

(1) 館外貸出

野球界関連の団体、公共団体、類縁機関等の展覧会やイベントに際し、資料貸出だけでなく、企画内容に関する相談にも対応するなど積極的に協力し、野球の底辺拡大に努めるとともに、野球殿堂博物館の認知度を高める。

(2) 船橋市との相互協力協定（2017年4月～）

(3) 全国博物館大会への参加

(4) 野球報道写真展10周年記念企画の準備

Ⅳ 野球殿堂関連の事業

(1) 2024年に野球殿堂入りした谷繁元信氏、黒田博樹氏、谷村友一氏のレリーフ制作を彫刻家松田光司氏に依頼する。

(2) 野球殿堂入り特別展を、7月～9月にかけて殿堂ホールで開催する。

(3) 2025年野球殿堂入りの有資格者の調査を行う。競技者表彰委員会幹事による東日本幹事会を東京、西日本幹事会は大阪で開催し、候補者を決定し発表する。

(4) 競技者表彰委員会委員の異動調査を、各社の代表を通じて行う。その後、各社の代表経由で、委員に投票用紙を配布、記名投票にて、投票用紙の回収を行う。その後、競技者表彰委員会東日本幹事会の幹事により開票作業を行う。

(5) 特別表彰の候補として推薦された方の調査を行い、資料を作成する。特別表彰委員会候補者選考委員会を開催し、候補者を決定し発表する。その後、委員に対し投票用資料を郵送し、特別表彰委員会を開催する。

(6) 競技者・特別両委員会で選出された方への2025年野球殿堂入り通知式を、野球殿堂ホールにて行う。

(7) 野球殿堂関係資料の整理を行う。

(8) 顕彰者のご家族の近況を確認するため、アンケートを実施する。